

大会名称: 東日本大震災復興支援  
第36回李相佰盃日韓学生バスケットボール競技大会

開催場所: 福岡市民体育館

試合区分:

期 日: 2013(H25)年5月17日(金)

主審: 平原 勇次

開始時間: 18:00

副審: 宇地原 尚彦・有澤 重行

終了時間: 19:40

JAPAN (1敗)	● 85	17 -1st- 24 20 -2nd- 21 24 -3rd- 24 24 -4th- 24	○ 93	KOREA (1勝)
---------------	---------	--	---------	---------------

第36回李相佰盃日韓学生バスケットボール競技大会第1戦。終始、韓国学生選抜がリードし、それを日本学生選抜が追いかける展開が続く。日本学生選抜は中盤、激しいディフェンスから相手のミス进行を誘い、ピハインドを縮めるが、韓国学生選抜は、高確率の外角シュートとインサイドのミスマッチから、制空権を取り逆転は許さない。逆転を狙う日本学生選抜は、終盤、ファウルゲームを仕掛けるが、思うように点差は縮まらずタイムアップ。93-85と韓国学生選抜が勝利し、第1戦をものにした。

第1ピリオド、序盤、韓国学生選抜は堅実なディフェンスから得点を奪い、一歩リードする。しかし、日本学生選抜もターンオーバーで流れに乗れない中、個人技で加点し、なんとか繋いでいく。中盤から、韓国学生選抜は外角シュートを起点に、コンスタントに加点すると、24-17、韓国学生選抜リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、韓国学生選抜は、インサイドを中心に得点を奪いリードを広げる。対する日本学生選抜は、#10晴山の外角シュートが冴え渡り、喰らいつく。中盤、日本学生選抜は、ディフェンスをゾーンに変更し流れを変えようとするが、逆に韓国学生選抜にセカンドチャンスを与え、点差を縮めることができないまま第2ピリオド終了。46-37と韓国学生選抜のリードは変わらず前半を折り返す。

第3ピリオド、序盤から日本学生選抜は、#6字都がリングへと果敢にドライブを仕掛け、流れを掴むと、#11野本も3Pシュートやランニングプレイでそれに続き、点差を縮める。しかし韓国学生選抜は、高確率の3Pシュートを武器に得点を重ね、さらに高さの利を活かしてオフenseリバウンドを奪取し、再び点差を元に戻す。69-61と韓国学生選抜リードで第3ピリオド終了。勝負は第4ピリオドへ。

第4ピリオド、序盤、両チームともに得点を重ねていき、点差は変わらず時間ばかりが経過する。中盤、日本学生選抜は、#10晴山の外角シュートや#11野本のドライブを起点に反撃し、5点差まで詰め寄るが、あと一歩が及ばない。終盤、後がない日本学生選抜は、ファウルゲームを仕掛け、#13坂東の3Pシュートに望みを託すが、逆転するには至らず、タイムアップ。93-85と韓国学生選抜が勝利した。